



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ユニカフェ

コード番号 2597 URL <http://www.unicafe.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中村 拓治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長

(氏名) 長縄 明彦

TEL 03-5400-5444

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	9,736	—	288	—	246	—	243	—
23年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 279百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	17.62	—
23年3月期第2四半期	—	—

当社は、平成23年3月期より決算期を毎年9月30日から毎年3月31日に変更しております。これに伴い、平成24年3月期第2四半期(4月から9月まで)と比較対象となる平成23年3月期第2四半期連結財務諸表を作成していないため、平成24年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	12,118	6,067	50.1
23年3月期	12,477	5,787	46.4

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 6,067百万円 23年3月期 5,787百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,400	—	350	—	300	—	280	—	20.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成23年3月期は、決算期変更により6ヶ月決算となっておりますので、平成24年3月期の連結業績予想の対前期増減率については記載しておりません。

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	13,869,200 株	23年3月期	13,869,200 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	25,540 株	23年3月期	25,450 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	13,843,660 株	23年3月期2Q	— 株

当社は、平成23年3月期より決算期を毎年9月30日から毎年3月31日に変更しておりますので、期中平均株式数(四半期累計)の平成23年3月期2Qについては記載しておりません。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融用品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際業績等に様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日までの6ヶ月間）における当社グループを取り巻く環境は、東日本大震災の甚大な被害による消費マインドの低下や、経済活動の停滞から回復基調にあるものの、原発事故に端を発した電力供給への不安に、世界経済失速の懸念など、依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、レギュラーコーヒー業界におきましても、同業各社が激しい競争環境の下で消耗戦を繰り広げている状況が長期間にわたって続いており、景気の先行きに対する不透明感から、消費者の消費志向も節約型・低価格志向型が定着しております。

さらに当社の業績に多大な影響を及ぼすコーヒー生豆相場につきましては、1年前の平成22年4月には1ポンド当たり130セント台であったものが、平成23年4月は1ポンド当たり259.90セントと約2倍の水準で始まり、その後も上昇の一途をたどり、平成23年5月3日には1ポンド当たり304.90セントの高値を付け、期初から約1ヶ月で1ポンド当たり45.0セント（17%）の上昇となりました。その後、6月に入って落ち着きを取り戻したものの、9月上旬には再び300セントに急迫するなど、前年との比較では依然として非常に高い水準での推移となっており、近年にない厳しい環境に直面しております。

このような経営環境の下、当社グループは平成22年度からの3年間を対象とする「事業再生計画」の2年目にあたり、「コーヒーをコアに人と環境にやさしい企業を目指す」の企業理念の下、事業再生に向けた具体策として「選択と集中」「シナジー効果の実現」を基本方針とし、事業基盤の強化と企業価値向上に向けた取り組みを進めております。

「選択と集中」につきましては、営業資源を「コーヒー関連事業」に集中し、営業体制・製品開発体制の強化と周辺事業からの撤退を進めており、「コーヒー関連事業」以外の事業は、連結子会社の上海緑一企業有限公司を通しての事業である「パルプモールド事業」のみとしております。

「シナジー効果の実現」につきましては、神奈川総合工場を戦略基地とした生産工程全般の効率化を進めるとともに、管理体制の強化に努めております。

セグメントの状況は、次のとおりであります。

① 「コーヒー関連事業」

「コーヒー関連事業」につきましては、国内において主力の工業用コーヒーの他、業務用コーヒー、家庭用コーヒーの分野におきまして、OEM製品、NB・PB製品の販売に注力いたしました。新規売上の獲得と既存取引先の深耕化の推進により、コーヒー製品の販売数量の拡大に努めました。その結果、工業用コーヒーは、ほぼ前年通り推移いたしました。業務用コーヒーと家庭用コーヒーにおいても、主要取引先からの受注は好調に推移いたしました。しかしながら、販売費及び一般管理費の抑制に努めながらも、コーヒー生豆の価格上昇は企業努力の範囲を遥かに上回り、売上原価率の上昇を余儀なくされました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は96億53百万円、その営業利益は2億77百万円となりました。

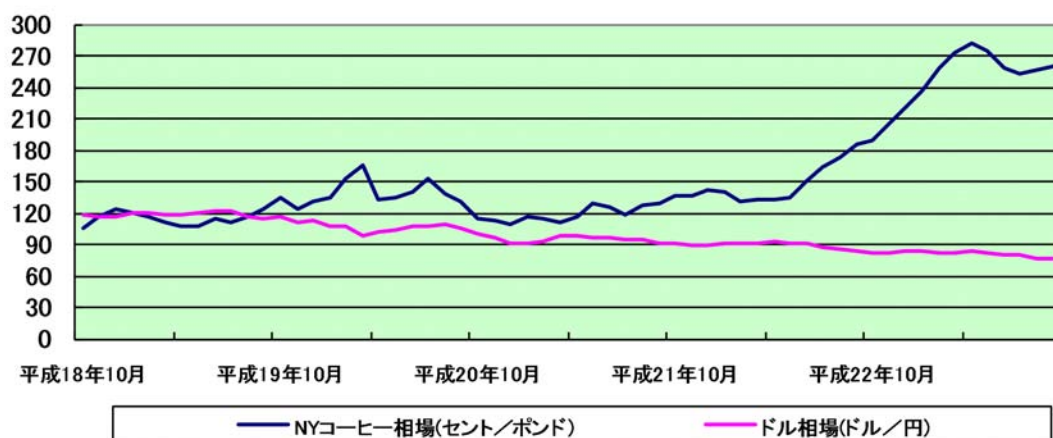
② 「パルプモールド事業」

「パルプモールド事業」につきましては、当社グループは連結子会社の上海緑一企業有限公司を通しての事業であり、当第2四半期連結累計期間の売上高は、主要取引先の売上数量の減少により82百万円、その営業利益は、人件費の上昇及び設備投資を行ったため10百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、97億36百万円、営業利益は2億88百万円、経常利益は2億46百万円、四半期純利益は2億43百万円となりました。

なお、前連結会計年度の決算期変更により前第2四半期連結財務諸表を作成しておりません。これに伴い前年同期比については、記載しておりません。

<参考資料> 最近5年間のニューヨーク コーヒー定期市場（期近物の終値） と為替相場
 （単位：セント、円）



(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産の部

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比3億59百万円減少し、121億18百万円となりました。増減の内訳は、流動資産が2億78百万円減少いたしました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が3億48百万円、商品及び製品が92百万円それぞれ増加しましたが、現金及び預金が7億38百万円減少したことによります。また、固定資産が80百万円減少いたしました。

② 負債の部

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比6億38百万円減少し、60億51百万円となりました。増減の内訳は、流動負債が6億37百万円減少いたしました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が1億71百万円増加いたしました。また、短期借入金が7億円減少したことによります。また、固定負債が1百万円減少いたしました。

③ 純資産の部

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比2億79百万円増加し、60億67百万円となりました。この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は50.1%となり、前連結会計年度末比3.7ポイント増加しております。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ7億38百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には6億80百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、11百万円となりました。これは主に、売上債権の増加3億48百万円、たな卸資産の増加1億3百万円及び仕入債務の増加1億71百万円、減価償却費1億16百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は45百万円となりました。これは主に、投資計画に基づいた65百万円の有形固定資産の取得によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は7億5百万円となりました。これは主に、短期借入金の減少7億円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想については、平成23年11月11日公表の「平成24年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,418,680	680,294
受取手形及び売掛金	4,648,840	4,997,796
商品及び製品	143,602	236,116
仕掛品	57,389	63,994
原材料及び貯蔵品	302,388	306,817
繰延税金資産	115,384	116,402
その他	67,630	74,038
貸倒引当金	△694	△746
流動資産合計	6,753,221	6,474,714
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,859,019	3,862,248
減価償却累計額	△1,229,474	△1,287,457
減損損失累計額	△145,526	△147,657
建物及び構築物（純額）	2,484,018	2,427,133
機械装置及び運搬具	3,128,729	3,139,853
減価償却累計額	△2,568,883	△2,616,143
減損損失累計額	△177,382	△179,980
機械装置及び運搬具（純額）	382,463	343,730
土地	1,639,318	1,639,318
建設仮勘定	3,323	49,875
その他	231,050	231,242
減価償却累計額	△171,793	△180,878
減損損失累計額	△2,210	△2,229
その他（純額）	57,046	48,134
有形固定資産合計	4,566,170	4,508,192
無形固定資産		
ソフトウェア	—	3,220
その他	79,523	79,718
無形固定資産合計	79,523	82,938
投資その他の資産		
投資有価証券	659,391	641,243
破産更生債権等	4,101,039	4,093,366
その他	69,434	69,183
貸倒引当金	△3,751,411	△3,751,411
投資その他の資産合計	1,078,455	1,052,382
固定資産合計	5,724,149	5,643,513
資産合計	12,477,371	12,118,227

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,997,256	4,168,386
短期借入金	2,200,000	1,500,000
未払法人税等	8,809	10,298
賞与引当金	51,904	47,552
その他	351,774	246,333
流動負債合計	6,609,745	5,972,570
固定負債		
負ののれん	53,954	40,465
その他	26,192	38,121
固定負債合計	80,146	78,586
負債合計	6,689,891	6,051,157
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,216,500	4,216,500
資本剰余金	1,020,799	1,020,799
利益剰余金	710,781	954,643
自己株式	△38,680	△38,713
株主資本合計	5,909,400	6,153,229
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△58,838	△26,983
為替換算調整勘定	△63,082	△59,176
その他の包括利益累計額合計	△121,920	△86,159
純資産合計	5,787,479	6,067,069
負債純資産合計	12,477,371	12,118,227

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	9,736,038
売上原価	8,696,145
売上総利益	1,039,892
販売費及び一般管理費	751,867
営業利益	288,024
営業外収益	
受取利息	1,345
受取配当金	1,314
負ののれん償却額	13,488
受取家賃	14,670
その他	4,771
営業外収益合計	35,590
営業外費用	
支払利息	3,912
不動産賃貸原価	30,668
投資事業組合運用損	40,519
その他	1,822
営業外費用合計	76,923
経常利益	246,691
特別損失	
固定資産除却損	46
特別損失合計	46
税金等調整前四半期純利益	246,644
法人税、住民税及び事業税	3,800
法人税等調整額	△1,017
法人税等合計	2,782
少数株主損益調整前四半期純利益	243,862
四半期純利益	243,862

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	243,862
その他の包括利益	
其他有価証券評価差額金	31,855
為替換算調整勘定	3,905
その他の包括利益合計	35,760
四半期包括利益	279,623
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	279,623
少数株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成23年4月1日
至 平成23年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	246,644
減価償却費	116,854
負ののれん償却額	△13,488
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	52
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,351
受取利息及び受取配当金	△2,659
支払利息	3,912
固定資産除却損	46
投資事業組合運用損益 (△は益)	40,519
売上債権の増減額 (△は増加)	△348,388
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△103,407
仕入債務の増減額 (△は減少)	171,564
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△9,904
その他	△80,343
小計	17,051
利息及び配当金の受取額	2,537
利息の支払額	△4,210
法人税等の支払額	△3,800
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,578
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△65,355
無形固定資産の取得による支出	△3,460
投資有価証券の取得による支出	△1,500
貸付金の回収による収入	7,798
その他	16,716
投資活動によるキャッシュ・フロー	△45,800
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△700,000
自己株式の取得による支出	△52
配当金の支払額	△372
その他	△4,787
財務活動によるキャッシュ・フロー	△705,212
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,048
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△738,385
現金及び現金同等物の期首残高	1,418,680
現金及び現金同等物の四半期末残高	680,294

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。
- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。